

【支援報告】

マナビ県ポルトビエホ

1/29 に被災地ポルトビエホの避難所を訪問し、支援物資を届けました。



避難所風景

《購入物資》

バスタオル 60 枚 \$646.95

ビニールシート 100m \$105.12

合計: \$752.07

※ エクアドルの季節は、雨季と乾季の 2 つです。現在は雨季に入り、雨が多く晴れると、とても日差しが暑い日々が続いています。

そんな中避難所では、未だ多くの方が避難生活を強いられており、新たな問題に直面しています。

大雨によるテント内の浸水や感染症問題の増加です。

今回訪問したポルトビエホ避難所は空港跡地にあり、コンクリート上にテントを設置されています。日中晴れの日には、テント内はサウナ状態です。現在も 60 世帯 220 人が避難所で生活をしています。この現状を踏まえタオルや水よけのためのビニールシートを各テントへ寄付しました。



受け取った方からのメッセージ、

タオルを配ってくれてありがとう。大雨、日差しの強い日、テントの中はとても暑くて、居心地が悪くとても不便です。私はより落ち着くためにも他の家を持ちたいです。ありがとう。

今回の支援は、マナビ県から遠くインバブラ県オタバロで活動している石川隊員(27 年度 1 次隊、小学校教育)と、地震前にポルトビエホで活動していた稲垣隊員(26 年度 4 次隊、水泳)とマナビ県カルセタ隊員の内藤(26 年度 4 次隊、理学療法士)で訪問し、稲垣隊員の以前のホームステイ先の Ruth さん、Atilio さんご夫妻にも協力していただきました。



今回の支援をもって皆さまからいただいた支援は全て終了いたしました。

皆さまからの多大なご支援ご協力のもと、私たちはエクアドル被災地への直接支援へとつながることができました。本当にありがとうございました。

内藤 智子